| | |
|---|---|
| **Call 公募** | HORIZON-CL3-2026-01-INFRA-03 |
| **Project** | **Targeted innovative capabilities for the resilience of critical entities to natural and human-induced disasters, including hybrid scenarios**<br>HORIZON-CL3-2026-01-INFRA-03 |
| **Topic description**<br>トピックの説明 | 期待される成果：<br>本プロジェクトの成果は、以下の成果の一部またはすべてに寄与することが期待される：<br>● 都市部および都市周辺地域で導入が進められている革新的な技術に関連する、潜在的な新たなセキュリティリスクの特定と分析；<br>● グリーン・トランジションによって都市部および都市周辺地域にもたらされる変化のうち、安全保障およびレジリエンス対策に関連するものを特定・測定するための、革新的かつ現代的な手法；<br>● グリーン技術が導入されている地域において生じうる安全・セキュリティ上のリスク、危険、課題に対処するための措置の検証；<br>● グリーン・トランジションの安全性およびセキュリティ面に関する認識の向上と社会的受容の促進への貢献；<br>● 新技術や新興技術に関連するインシデントが及ぼす影響について、環境リスクや気候リスクを含めて検討する；<br>● グリーン技術のサプライチェーンにおけるセキュリティ、安全性、レジリエンスの側面について、技術的・資源的な依存関係を含め、欧州の戦略的自律性の原則との整合性を踏まえて分析を行う。<br>● 当局および重要インフラの運営者は、都市部および都市周辺地域において、新規・新興技術を安全かつ確実に導入・統合するための効率的な評価手法を備えている。<br>スコープ：<br>気候変動と環境悪化は世界にとって存亡に関わる脅威であり、グリーン・トランジションは、その影響を軽減・緩和するとともに、欧州の競争力向上に寄与するための EU 戦略において極めて重要な要素である。この取り組みは、欧州を近代的で、資源効率が高く、回復力があり、競争力のある経済へと変革するための取り組みの一環でもある。しかし、 以下のような、新規および新興技術の急速な導入（これらに限定されない）：環境に配慮した電力系統連携型屋根・壁、太陽光発電設備、電気自動車用充電ステーション、エネルギー貯蔵システム、スマートセンサーおよび監視システム、環境に配慮した交通システム、自然由来の、あるいはその他の持続可能な建設資材や再利用資材、あるいは特定のインフラソリューションなどは、既存のインフラとの新たな相互依存関係や、導入されたソリューションの蓄積などを通じてセキュリティリスクを生み出す可能性があり、あるいは、その規模や原因が不明な新たな潜在的なリスクや危険を引き起こす可能性がある。<br>本テーマの下で提出される提案は、都市部および都市周辺地域への*持続可能かつ環境に優しい技術*の導入について調査を行い、この現象に起因する物理的およびサイバー上のリスクや脆弱性を特定・検討するものである。これには、以下が含まれるが、これらに限定されない：バッテリー火災、有害物質の漏出、感電、構造的健全性、有害廃棄物、データプライバシー、土地管理の混乱（自然環境への潜在的な悪影響を含む）、あるいは社会・地域社会における緊張など。また、提案においては、悪意のあるアクセス、ソフトウェアやデータの改ざん、管理システムの悪用といった脅威についても考慮すべきである。これらは、その意図が犯罪、破壊行為、ハイブリッド攻撃、その他であるかを問わず、健康被害、人命の損失、環境被害、あるいは経済的損害につながる可能性がある。<br>本研究の最終的な目的は、事業者、緊急対応要員、および当局に対し、リスクを軽減し、備えを強化し、潜在的な事案への対応を改善する方法について情報を提供することである。新たな脅威を認識することで、重大なインシデントの発生を未然に防ぐことが可能となり、万が一事 |

| | |
|---|---|
| | 故が発生した場合にも、対応および復旧に向けた効果的な戦略、経営上の助言、プロセス、および手法を提供できるはずである。この研究では、さまざまな社会経済的背景を持つコミュニティや、多様な状況のニーズに合わせて、また年齢や性別が異なる人々に適応した提言を行うべきであり、それによって物理的およびサイバー上のリスクや脆弱性を特定し、軽減することを目指す。グリーン移行に伴う主要な安全・セキュリティ上のリスクに先手を打って対処することは、証拠に基づいた安全・セキュリティ政策に裏打ちされ、これらの技術の将来性を確保し、国民の信頼を築き、その広範な受容を促進することにつながるだろう。<br>本研究案は、適応能力、グリーン技術に伴うリスクや脆弱性について包括的な理解を深めるとともに、自然に基づく解決策を活用し、生物多様性の原則を尊重しつつ、これらのリスクを軽減し、安全かつ強靭で確実な導入を確保するための実践的な提言を提供するものである。そうすることで、グリーンテクノロジーのメリットを最大限に活かしつつ、その潜在的なリスクや悪影響を最小限に抑えることができる、強靭で持続可能な都市環境の構築に寄与することになる。<br>このトピックにおいて、研究およびイノベーションの内容へのジェンダーの視点（性別およびジェンダー分析）の組み込みについては、その研究活動の目的と関連がある場合に限り、検討すべきである。<br>技術成熟度レベル - 完了したプロジェクトに期待される技術成熟度レベル<br><br>本プロジェクトの終了までに、各活動において TRL 5 の達成が見込まれている（一般付属書 B を参照）。 |